

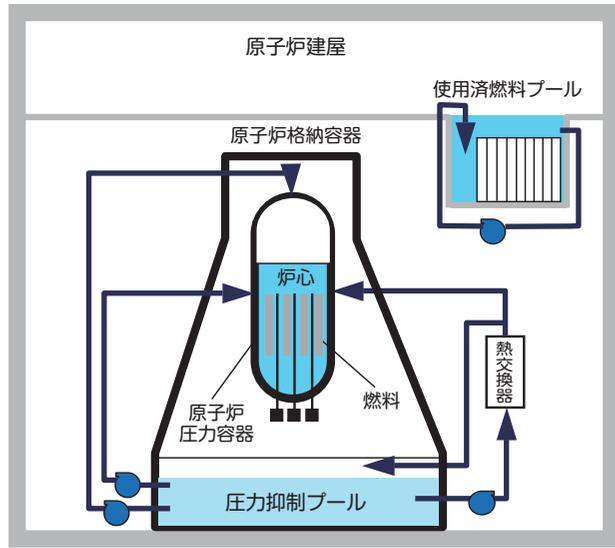
私たちは、原子炉などの安全確保のために、日頃から緊張感と自覚をもって万一来る事態に備えています。

発電所では、日々、電気設備の点検を行っています。今回は、外部から供給される電気や所内の非常用電源が使えない場合に備えて設置した、さまざまな電源設備を守る所員の取り組みについて紹介します。

発電所は、運転が停止しても、燃料から熱が出続けるために原子炉などを冷やす必要があります。そのため、冷却水を送るポンプやそれを運転監視するための計器などに電気が必要です。福島第一原子力発電所のような炉心が損傷する重大事故にならないように、高圧電源車などを配備するとともに、それらの運転に必要な燃料の備蓄もしています。



高圧電源車(上)、
直流電源設備(蓄電池)
など



私たちは、福島事故で、電源の重要性をあらためて実感しました。だからこそ、二度とあのような事故を起こさないよう、日々緊張感をもって業務に取り組んでいます。



設備の点検を総括する
保修室長



ミーティングでは、作業の確認のほか、ベテラン社員が若手社員に技術や知識の伝承を行うなど、プロ意識の育成に努めています。

緊急時には、電源確保要員として真っ先に現場に駆けつけます。



日々、電気設備を守る所員たち

低圧電源車の点検

所員の仕事のひとつひとつが積み重なって安全確保が形になるので、自分の業務を確実に遂行するよう心がけています。



運転状態に異常がないか指示計で確認

蓄電池の点検



ポンプに電気を送るための蓄電池の電圧を確認



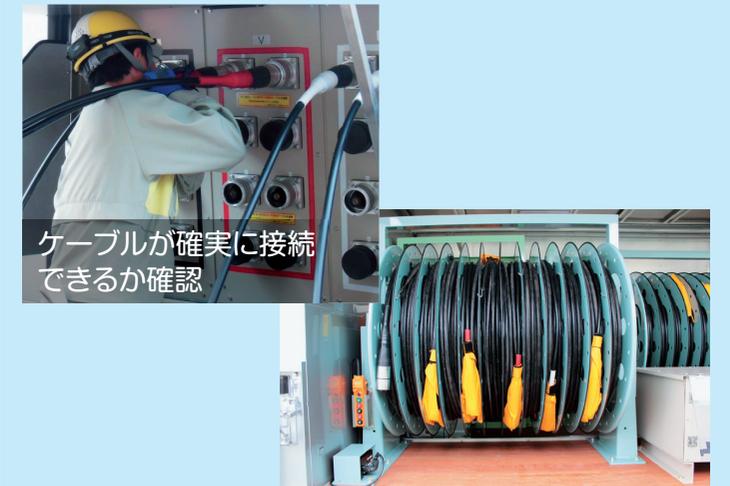
「この設備が発電所を守るのだ」という緊張感と自覚をもって業務に取り組んでいます。

蓄電池の充電用発電機の点検



発電機の燃料や蓄電池の確認

「誰よりもこの設備をわかっている」というプライドをもって点検を行っています。



ケーブルが確実に接続できるか確認

ヒューマンエラーを防ぐために、ケーブルの接続部分を色分けするなど、さまざまな工夫をしています。

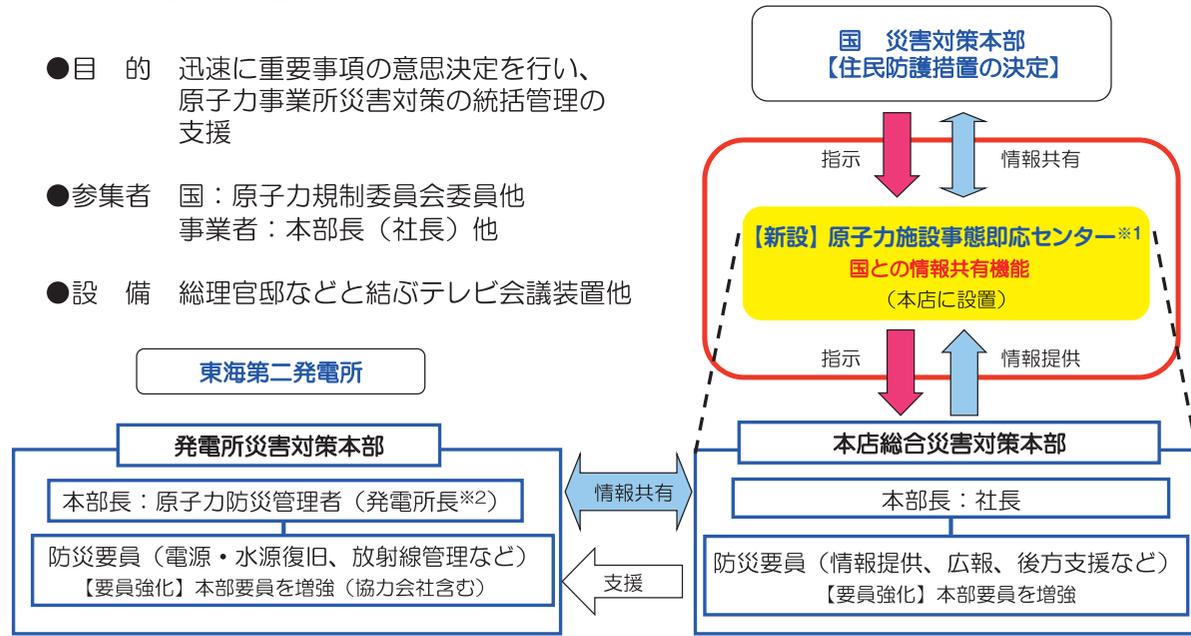
■皆さまからのご質問にお答えします■

Q. 福島第一原子力発電所の事故の収束活動の時のように、指揮命令の混乱は生じないのですか？

A. 福島第一原子力発電所の教訓を踏まえ、国と事業者間の情報の混乱を防ぐため、事業者防災業務計画を改定し、原子力災害発生時には速やかに事業者本店内に「原子力施設事態即応センター*1」を開設し、原子力規制委員会の委員と当社関係者が対面の上で連携して事故の収束活動にあたることとしています。

さらに、発電所と本店間での指揮命令の混乱を防ぐため、原子炉への海水注入判断などを含めた事故の収束活動に係る全ての判断は、発電所長*2が行えることを社内規定に明確化しました。

- 目的 迅速に重要事項の意思決定を行い、原子力事業所災害対策の統括管理の支援
- 参集者 国：原子力規制委員会委員他
事業者：本部長（社長）他
- 設備 総理官邸などと結ぶテレビ会議装置他



■発電所の周辺市町にお住まいの皆さまへの説明会を開始しました■

10月7日より、発電所の周辺市町にお住まいの皆さまを対象に、「東海第二発電所安全対策等の説明会」を開始しました。現在、説明会の開催について、市町単位でご案内をさせていただいておりますので、ご参加をお願いいたします。

説明会でいただいたご意見などについては、当社ホームページや本紙などでお知らせしてまいります。



質疑応答の様子
(10月7日 那珂市)



安全対策の説明の様子
(10月14日 日立市)

■新規制基準への適合性に係る審査の状況について■

原子力規制委員会による、東海第二発電所の新規制基準への適合性を審査する4回目の会合が、9月18日に開催されました。会合では、当社からの提出資料に基づき、確率論的リスク評価*について、運転時と停止時に分け、炉心損傷に至るまでの事故進展シナリオを抽出し、設備の信頼性や事故の発生要因についての検討結果を説明しました。今後も引き続き説明を行ってまいります。

* 確率論的リスク評価 (PRA: Probabilistic Risk Assessment) とは：プラントの内部事象 (機器故障・人的ミスなど) や外部事象 (地震・津波) が原因となって重大事故に至る確率評価のことをいいます。新規制基準では、確率論的リスク評価を行ったうえで、福島第一原子力発電所の事故を踏まえて実施した、重大事故対策が有効に機能するか評価することが求められています。

当社ホームページから新規制基準への対応に関する公開資料、説明会の状況などがご覧になれます。 <http://www.japc.co.jp/shinsei/tokai/index.html>



東海テラパークからのお知らせ



◆東海テラパークでは、安全対策や訓練の様など、各種パネルやビデオでご覧いただけますので、ぜひお越しください。

展示物などのご案内

* 地域の方々の作品を展示しています
ミニギャラリーご案内
● 9月8日～11月20日
「古民家の秋」
～どなたでもご覧いただけます～



東海テラパーク

所在地 那珂郡東海村白方1-1
電話 029-287-1252
開館時間 9時～16時30分
入館料 無料
休館日 年末年始 (12/29～1/3)

お問い合わせ先
土日祝日を除く 9時～17時



日本原子力発電株式会社

茨城総合事務所 茨城県水戸市笠原町978-25 TEL:029-301-1511
東海事務所 茨城県那珂郡東海村白方1-1 TEL:029-287-1250

当社ホームページ
<http://www.japc.co.jp/>